

## 大学行政管理学会・東北地区研究会で講演しました(2017/07/08)

テーマ：防災教育，被災地支援

7月7(土)-8日(日)、「大学行政管理学会・2018年度第1回(通算22回)東北地区研究会」が東北学院大学，名取市閑上地区，尚絅学院大学などを会場にして開催されました(主催：一般社団法人大学行政管理学会，東北学院大学災害ボランティアステーション)。この研究会は，東日本大震災から7年が経ち，東北においても，全国においても，その経験の継承が必要であることから，「宮城県の大学における防災(減災)教育・復興支援の実践～これまでとこれから～」をテーマにして，東日本大震災後の宮城県の大学の取り組み等について学ぶ機会として企画されました。2日間で，全部で3講演とフィールドワークが実施されました。

当研究所の佐藤翔輔准教授(情報管理・社会連携部門)は，「大学で被災地を学ぶことの意義」というタイトルで，宮城県内大学での防災教育の事例・その効果，被災地で学生が生の体験を知る効果，災害の記憶に関する実態・現状について講演しました。参加された方々から活発な質問をいただき，盛会となりました。



研究会の様子

文責：佐藤翔輔(情報管理・社会連携部門)